

群蔵土壁白

土の道路へ舗装開始

「遙かな町へ」世界観演出

倉吉市を舞台にした映画『遙かな町へ』の撮影が進む同市内の白壁土蔵群で22

日、ロケ地となる市道を作中の時代設定に合わせて、土の舗装に変える工事が始

まった。撮影終了後も土の舗装は維持し、作品の「聖地」として観光振興に役立

てる。

土の舗装エリアは、赤瓦一号館（同市新町1丁目）付近の玉川沿い約70坪の間。工事初日のこの日は既存のアスファルト舗装を剥がす作業が行われた。

現場一帯が国の「重要伝統的建造物群保存地区」（伝建群）に指定されているため、作業員らは道路周辺の建物や玉川の石垣を傷つけないよう、ブレードと呼ばれる工具やパワーショベルを使い、少しずつ慎重に作業を進めていった。

ロケ終了後は、土にセメントを混ぜた舗装剤を使い、当時の路面を維持する形で再び舗装。映画の撮影地を巡る「ロケーションツ

周辺の建造物を傷つけないよう、パワーショベルで慎重にアスファルトを剥がす作業員＝22日、倉吉市新町1丁目



「リズム」の需要を取り込み、地域経済の活性化につなげる。

市観光交流課の三谷友理主幹は「映画の世界に入り込むことができる場所にな

る。来秋の作品公を機に、『遙かな町へ』の聖地として多くの観光客に訪れてほしい」と期待した。

（井田慎一）